

午後Ⅱ試験

全問に共通して、IT ストラテジストの経験と考えに基づいて、設問の趣旨を踏まえて論述することが重要である。設問の趣旨から外れた論述や具体性に乏しい論述は、評価が低くなってしまうので、是非、留意してもらいたい。また、論述の対象とする構想、計画、システムなどの概要が適切に記述されていないものが目立った。論述の対象とする構想、計画、システムなどの概要は論述の一部であり、適切な記述が求められている。

問 1（IT を活用した事業戦略の策定について）では、競争戦略、IT を活用した事業戦略が論述の中核であり、戦略の策定に携わった経験がある受験者には論述しやすかったと思われる。しかし、戦略の中身が不明瞭であったり、事業課題、システム課題への取組みに終始していたりという論述も散見された。

問 2（事業継続計画の策定について）では、事業継続計画の策定に際して、着目して検討した内容は、おおむね論述されていた。しかし、事業継続計画策定の一部にだけ関与した受験者は、計画の全体像が分かる概要の論述が不足していた。また、事業継続計画の策定内容としているものの、システム改善、システム再構築などの内容に終始している論述も見られた。

問 3（技術動向の分析に基づいた組込みシステムの企画について）では、おおむね、設問の趣旨を理解し、IT ストラテジストとしての視点から論述されていた。具体的な分析手法、技術的知見に基づく主張、技術戦略に対する客観的、多面的な評価などを論述して、高い能力を示すものが多くあった。一方、市場動向や、要求されている機能の分析、製品の競争力について論述するだけで、技術動向については述べていないなど、題意と異なる論述も見受けられた。